

## 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	児童館（5館）、児童センター（1館）
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖 180 番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤 徳久
(3) 公の施設の所管部署	保健福祉局子ども未来部子育て支援課
(4) 評価対象期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	児童館・児童センターは、地域の子どものための健全な遊び場として、地域における児童福祉の重要な拠点の役割を担っている。	総合評価
	<p>令和 4 年度は、令和 3 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、イベントやクラブ運営については自粛傾向であったが、その中でも感染症対策に留意しながら、乳幼児とその保護者、小中学生や中高生などそれぞれの年齢層に合わせたイベントを実施したりする等、工夫を凝らした運営が実施できていた。結果、倉敷児童館と倉敷北児童センターについては、施設の移転の際に各々約 1 カ月程度休館したものの、児童館・児童センター 6 館合計で令和 3 年度の 1.92 倍となる約 17 万人もの方に利用者していただいた。</p> <p>また、2 施設で新たに休日保育の実施を開始しており、事前の利用者への面接などを通じてしっかりと説明を行っていることを確認している。登録者や利用者も着実に増加してきている。</p> <p>こうした中、令和 4 年度の評価に当たっては、</p>	S

感染症流行下での事業継続実施体制、事故防止・防犯対策、備品の管理の三点を重視して評価を行った。

感染症流行下での事業継続実施体制については、各館とも、パート職員などの非常勤職員に対し、各児童館職員等が新型コロナウイルス感染等で出勤できなくなった場合に、出勤予定以外の日においても緊急出勤してもらえよう体制を構築している。加えて、総合福祉事業団本部において、パート職員でも対応できない状況となった際には、他の児童館等から応援職員を派遣するよう体制を構築している。以上のことから、各児童館において感染症流行下においても継続して事業を実施できる体制が構築されており、今後も引き続き感染症対策に努めながら、児童館運営を行ってほしい。

事故防止については、病気、負傷等のマニュアルを整備したり、緊急連絡先を明示したりする等の基本的な対応ができているほか、全職員が救急救命講習を受講する等事故防止の対策ができています。遊具についても、職員が毎日清掃・点検するとともに、専門業者による点検を年に1度は行い、不備があれば速やかに改善している。防災防犯についても、マニュアルを整備し、避難訓練を実施しており、対策が徹底されている。児童館・児童センターは令和6年度からは安全計画の策定が義務付けられていることもあり、ヒヤリ・ハット事例を職員間あるいは各児童館間で共有するなど、引き続き子どもたちが安全安心に利用できるよう、しっかりとした運営を行ってほしい。

備品の管理については、令和4年度中に建て替えに伴う大量の備品の入れ替えを行った施設もあり、また、安全かつ適正な事業運営のためにもしっかりとした備品管理が必要である。各館においては、毎日、利用者が使用するおもちゃをはじ

	<p>めとする備品については、毎回利用終了時に点検・消毒を行うとともに、各備品の保管場所を決めることで適正な管理ができています。また、各館とも管理簿を備えており、定期的に管理簿と照合することで適正にチェックを行っている。今後も利用者が安心して気持ちよく利用できるよう、備品の適正管理に努めていただきたい。</p>	
<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>地域の児童が心身ともに健やかに育つための環境づくりを行うとともに楽しくふれあえる場、安心・安全に過ごせる居場所を提供し、児童福祉の向上に努めました。</p> <p>保護者の子育て支援にも取り組み、相談対応や情報提供を積極的に行いました。</p> <p>・<b>児童館で共通に取り組んだ事業</b></p> <p>児童福祉週間の一環として、各児童館の特色を活かした行事「ごー！ごー！！じどうかん」をコロナ対策を講じながらそれぞれの地域の現状に応じた形で行い、参加者に楽しんでもらうことができました。</p> <p>・<b>おでかけ児童館事業</b></p> <p>地域のイベントや親子クラブ、放課後子ども教室等、児童館を利用しにくい地域へ出向いて工作や遊びを提供する「おでかけ児童館」を6児童館あわせて346回実施しました。</p> <p>また、6館合同で「キッズカーニバル」を実施した他、「スポーツフェスティバル」や「くらしき健康福祉プラザまつり」、「倉敷市こどもまつり」に参画しました。</p> <p>・<b>地域の健全育成の環境づくり</b></p> <p>児童館活動の内容を広報くらしきや児童館だより、ホームページ等でPRし、児童館活動に関する理解や協力が得られるように努めました。</p> <p>・<b>ボランティアの育成</b></p> <p>児童館を利用する子どもがボランティアとして活動できるよう支援しました。</p> <p>また、地域住民のボランティア受け入れは、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため最低限にとどめましたが、学生ボランティアや実習生を可能な限り受け入れて次世代育成に努めました。</p> <p>・<b>休日保育に関する事業</b></p>	

新しく整備された倉敷児童館と倉敷北児童センター内において、休日に保護者の就労等で家庭での保育が困難な時に乳幼児を預かる事業に取り組み、児童館のノウハウを生かした保育を実施し、高まる保育ニーズに応えました。

#### ・倉敷北児童センターの体力増進指導に関する事業

遊びや行事（運動を主とする。）を通して体力増進を図ることを目的として、子どもが運動に親しむ習慣を形成しました。

参加者は、苦手な鉄棒や跳び箱にも挑戦し、技のコツを繰り返し練習することにより、達成できた喜びが自信に繋がりました。

また、体力増進指導を通して子どもの社会性を伸ばし、心と身体の健康づくりを図りました。

#### ・玉島児童館の地域子育て支援拠点事業

玉島児童館 3 階に常設しているつどいの広場では、おおむね 3 歳までの児童及び保護者を対象として、子育てに関する相談や援助、地域の子育て情報や親子交流の場の提供等を行いました。

誕生会やベビーマッサージ、音楽親子遊び、身体計測等の行事を実施し、父親も含めた行事参加の機会を作るとともに、交流を図りました。子育てに関する相談では、必要に応じて関係機関への連絡も行いました。

#### ・岡山県児童館連絡協議会の運營業務

「岡山県児童館連絡協議会」の会長職と運営事務局を担い、研修会の開催や児童館のネットワーク作りに努めました。

#### ・自主事業

「ふれあいタイム」は、小学生の異年齢交流として様々な年齢の人たちと交流できる行事を実施しました。

クラブ活動に代えて、発達段階に応じた年齢別行事を実施し、親子や友達と交流する機会の充実に努めました。

「おもちゃバンク」は、感染症対策を講じつつ、交換又は譲渡の方法を改善しながら引き続き実施し、おもちゃの再利用の促進に努めました。

大学生の実習や体験学習を受け入れ、次世代育成に努めました。

事業団職員を講師とし、児童や保護者を対象とした「ヨガ体

験」、「育児相談・身体計測」、「福祉体験」等、利用者のニーズに応えられる企画の実施に努めました。

また、児童館職員が講師として、真備健康福祉館にて親子ふれあい遊びを実施しました。

#### 〔各館で個別に取り組んだこと〕

##### 倉敷児童館

新館オープン時には記念のスタンプラリーを実施し、多くの利用者を楽しんでもらいました。また、ふじ園、有城荘と3施設合同で開催した「くらしきすこやかプラザまつり」や、それぞれと実施した交流行事では、利用者同士が相互理解を深めました。

##### 倉敷北児童センター

11月に移転新規オープンし、明るく広々とした館内に大勢の乳幼児親子、小・中・高校生で賑わい、週末は1日200人を超える利用がありました。新館の利用ルールを徹底するために、館内掲示や個々への声掛けを行いました。また、近隣住民と良好な関係を築くために、環境面について配慮しました。

##### 水島児童館

運動・言葉・歌などの要素を含んでいる伝承遊びの行事を実施しました。異なる年齢や園・学校の友達と楽しく遊びました。また、繰り返し挑戦することでその遊びの楽しさを味わう機会にもなりました。

##### 児島児童館

誰でも気軽に参加できる季節のイベントを1週間単位で4回、保護者がリフレッシュできる託児付き行事を5回実施しました。小学生や保護者の要望に応じた行事を実施し、楽しく参加する様子が見られました。

##### 玉島児童館

中・高校生世代が「夏まつりでの魚釣りコーナー」「絵本の読み聞かせ」「ボードゲーム遊び」「フリスビーで遊ぼう」の行事を職員とともに企画し、実施しました。参加者と楽しく交流できるよう支援し、ボランティアの育成に努めました。

##### 真備児童館

地域で復活した行事や、新たに始まった行事に積極的に参加し、児童館行事をPRしました。その中で、真備地区の民生委員にお月見工作やマービーふれあいフェスティバルでのコー

	ナー遊びの見守りをお願いし、たくさん子どもたちと交流を深めることができました。
(3) アンケート結果の概要	6 児童館分をまとめてグラフ化し、提出します。

## 3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">利用者数（人）</th> <th rowspan="2">特記事項</th> </tr> <tr> <th>令和 4 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倉敷児童館</td> <td>34,647</td> <td>10,960</td> <td></td> </tr> <tr> <td>倉敷北児童センター</td> <td>30,776</td> <td>15,350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水島児童館</td> <td>26,570</td> <td>14,647</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児島児童館</td> <td>18,595</td> <td>10,685</td> <td></td> </tr> <tr> <td>玉島児童館</td> <td>29,117</td> <td>17,568</td> <td></td> </tr> <tr> <td>真備児童館</td> <td>30,077</td> <td>19,155</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>169,782</td> <td>88,365</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開館日一日あたりの 平均利用者数</td> <td>110.7</td> <td>80.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	利用者数（人）		特記事項	令和 4 年度	令和 3 年度	倉敷児童館	34,647	10,960		倉敷北児童センター	30,776	15,350		水島児童館	26,570	14,647		児島児童館	18,595	10,685		玉島児童館	29,117	17,568		真備児童館	30,077	19,155		合 計	169,782	88,365		開館日一日あたりの 平均利用者数	110.7	80.9	
	名 称		利用者数（人）			特記事項																																	
		令和 4 年度	令和 3 年度																																				
	倉敷児童館	34,647	10,960																																				
	倉敷北児童センター	30,776	15,350																																				
	水島児童館	26,570	14,647																																				
	児島児童館	18,595	10,685																																				
	玉島児童館	29,117	17,568																																				
	真備児童館	30,077	19,155																																				
合 計	169,782	88,365																																					
開館日一日あたりの 平均利用者数	110.7	80.9																																					
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館で共通に取り組む事業として「ごー！ごー！！じどうかん」を地域の現状に応じた形で実施</li> <li>・6館合同で、「キッズカーニバル」を実施し、「スポーツフェスティバル」や「くらしき健康福祉プラザまつり」等のイベントに参画</li> <li>・地域のイベントや親子クラブ、放課後子ども教室等、児童館を利用しにくい地域での「おでかけ児童館」を実施</li> <li>・遊びを通して健全育成を図る体力増進活動、文化・創造活動、食育活動の促進</li> <li>・子ども同士の交流及び日常生活の支援</li> <li>・子どもと保護者が自由に交流できる場所や子育てに関する情報の提供</li> <li>・関連機関の協力を得ての子育て相談やふれあい活動の実施</li> <li>・児童健全育成のための広報活動</li> </ul>																																						

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域組織（母親クラブ）活動の支援</li> <li>・ボランティアの育成、実習生や体験学習の受け入れ、地域住民がボランティアとして活動できる場を可能な限り提供</li> <li>・配慮を必要とする子どもへの支援</li> <li>・自主事業（ふれあいタイム、おもちゃバンク、ボランティアや実習生受け入れ、異年齢又は年齢別の行事、事業団内での講師派遣交流）</li> </ul>
(3) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、幼稚園の学校評議員会や子ども・子育て支援審議会等、関係機関の各種委員を積極的に努め、地域の子育て支援団体とも連携した。</li> <li>・倉敷児童館は7月に、倉敷北児童センターは11月にそれぞれ新築移転し、新館オープン記念のスタンプラリーや行事を実施して好評を頂いた。また、備品配置や運用ルールの検討を重ね、利用者の安全確保に努めながら開館した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として、利用者に検温や手洗い等の協力を求め、換気や消毒、館内の机の配置を工夫するなどして環境を整え、コロナ禍でもできる限りの行事を実施した。</li> </ul>

## 4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	163,985千円	
	市からの指定管理料（委託料）	163,600千円	
	利用料金	194千円	
	その他の収入	191千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	160,850千円	
	主な支出	人件費	116,906千円
		光熱水費	8,635千円
		修繕料	622千円
		備品購入費	0千円
		消耗品費	2,824千円
		施設管理委託費	7,793千円
	その他経費	24,070千円	